



その3 農林水産部

都市農村交流施設を  
中心とした地域活性化  
への取組

伊良部町で総合交流  
ターミナル施設等を整備



「ていだの郷」の外観

緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動、いわゆるグリーン・ツーリズムの推進のための取組が全国各地で行われています。

沖縄においても、沖縄農業基盤確立農業構造改善事業等により、亜熱帯地域の特性を活かしたグリーン・ツーリズムの推進が図られてきたところですが、今回は伊良部町において総合交流ターミナル施設等が整備されましたので、その概要を紹介します。

1 事業計画の概要

伊良部町伊良部地区は、平成十一年度に沖縄農業基盤確立農業構造改善事業における構造改善計画の認定を受けましたが、その基本目標は地域資源を活用したグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流による地域活性化のため、施設の整備することとなっています。また、本事業の導入によって、農業の振興と都市住民との交流をもとに、地域の自然、農業、固有の文化等を活用し、地域農業の振興、農家所得の確保、就業機会の拡大が図られることとなります。

事業内容は、農業と漁業、観光が連携した新しい農業の展開のための拠点施設として、総合交流ターミナル施設、ふれあい広場、連

ーミナル施設、ふれあい広場、連絡道を整備することとなり、平成十一年度に総合交流ターミナル施設の委託設計、平成十二年度に各施設の整備を実施しました。

2 総合交流ターミナル施設「ていだの郷」がオープン

遠浅の海に大小の岩が点在し独特の景観を呈する伊良部町「佐和田の浜」を目の前にし、水平線に溶け込んでいく夕陽がまぶしく輝く絶好のロケーションに、本事業により整備された伊良部町総合交流ターミナル施設「ていだの郷」が、昨年四月六日にオープンしました。



海水浴が楽しめる「ふれあい広場」

宿泊施設は、洋室（ツイン）四室、和洋室（ツイン＋一〇畳）二室、和室（一〇畳）六室の十二室があり、定員四十二人が宿泊できます。また、施設内には会議や研修用の研修室、地域の食材が味わえる地域食材供給施設（レストラン）、地域の農水産物の展示・販売ホールも整備されています。施設利用の点で、総合交流ターミナル施設との相乗効果が期待されている「ふれあい広場」は佐和田の浜に整備されており、キャンプ・海水浴が楽しめるようになっています。また、両施設を結ぶための連絡道も整備されています。



「ていだの郷」から見た夕日

3 地域周辺の自然・伝統芸能

伊良部町には、我が国で唯一のバイロット訓練飛行場である「下地島空港」、ダイビングスポットとして人気の高い「通り池」等の観光地があり、総合交流ターミナル施設に隣接した場所には長期滞在が可能なコテージ式の民宿キャンプ村もあります。

また、都市農村交流に関するイベントとして、漁業の町を前面に打ち出した町主催のスーパージャンボフッシング大会は、その名の通り大物が釣れると好評で多くの太公望が参加しています。また、宮古を代表する抒情歌として有名な「伊良部とうがに」大会等地域資源や伝統芸能を活用したイベントが実施されています。

4 地元雇用の拡大に貢献

総合交流ターミナル施設の運営は、

町商工会の青年部のメンバーが中心となつて設立した(有)アーム観光開発が町から委託を受けて行っています。常勤の支配人一人、料理長二人とパート十六人の計十八人が全員町内から雇用されており、雇用創出、就業機会の拡大に大きく貢献しています。また、施設で提供する食材等も地元の農水産物を優先的に使用しており、地域内農水産業への波及効果も期待されています。今後は地域特産農水産物を利用した食材の開発にも取り組む独自のメニューを提供することとなっています。

5 地域を担う若者の知恵を活用

利用状況については、昨年九月までの実績では、宿泊部門がオープンしてまだ半年であり、宣伝・広告が行き届いていなかったこともあり計画の約五割の実績ですが、レストラン部門は計画に対して一二〇%、研修室は二百七十四%とかなり上回った実績を達成しています。

地域の農業者を含めた運営メンバーは、「これまで培った青年部のネットワークを積極的に活用し



神秘的な通り池



奇岩が点在する佐和田の浜

たイベント誘致や農漁業体験、研修等多様なプランで、都市と農村の交流を促進し地域に貢献したい。」と張り切っています。また、「今後は、都市住民に向けて積極的に情報発信を行うとともに、若者独自の視点と民間の経営ノウハウを活かし、大手観光業者とも連携した運営を視野に入れた取組を図って、新しい産業として確立していきたい。」と意気込んでいます。

6 おわりに

今回の総合交流ターミナル施設整備としては、沖縄農業構造改善事業では沖縄県内で初めてという

ことから、地域農業の振興、新たな産業おこし等による農家の所得・就業機会の確保について各方面から注目されています。

離島が故の不利な条件等から人口も年々減少している伊良部町にとっては、人と地域が一体として共存できる地域社会の維持・発展がもっとも重要な課題になっています。

不利な条件を克服し、島が持つ独自性・優位性を引き出し、それらを活用したグリーン・ツーリズム推進に向けて、当施設が中核として農村振興、地域活性化に果たす役割に期待がかけられています。

（ていだ…方言で太陽のこと）

Table with 10 columns: 区分, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 計, 実績 / 計画. Rows include 宿泊, レストラン, 研修室.

単位：人、% 「ていだの郷」：電話 09807-8-5252